

大気環境化学論分野

Atmospheric Chemistry Research Group

越境大気汚染問題
光化学オキシダント問題
大気酸性化メカニズム解明
発展途上国の大気観測と排出量推定
大気質の精密将来予測

具体的な研究内容

- ・光化学オキシダントの生成機構解明と制御戦略
自動車排気ガス、植物VOCの精密測定
- ・超微量反応性大気成分測定装置開発
レーザー分光法、質量分析法
- ・大気汚染物質長距離輸送過程の研究
野外観測：沖縄辺戸岬、八方、母子里、小笠原

BEACHON-ROCS 2010

(Rocky Mountain Organic Carbon Study)



NCAR, Tokyo Met. Univ.

Univ. Wisconsin, SUNY

Univ. Houston, Univ. Innsbruck

学生の人数

D2(1人)、M2(1人)、M1(3人)

参加学会

日本化学会、大気環境学会、大気化学研究会、光化学協会、
American Chemical Societyなど

年間行事

- 4月 花見
- 7月 暑気払い(バーベキュー)
- 9月 研究室旅行
- 9~10月 学会シーズン
- 9~11月 秋季都市大気観測キャンペーン
- 12月 大掃除と忘年会
- 1~3月 卒業に向けて

2011年花見



2011年バーベキュー

